

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第58号
文責 校長 西村羊治
令和7年12月10日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

ありがとうございました！

12月5日(金)、5年生が田植えや稻刈りでお世話になった池田さんと木村さん・元本校用務員の櫻井先生が、できた餅米を持ってきてくださいました。なんと60kg以上も。6月の田植え、7月の草取り、10月の稻刈りと児童も職員も貴重な体験となりました。その間、水やりや草取り、イノシシよけの柵の設置などたくさんの手間のかかる管理をしてくださいました。

そのお陰で、見事なもち米ができました。子ども達はその一部の体験をさせていただきましたが、少しでも農業の大切さや大変さ、そして食べ物への感謝、食べ物に関わるすべての方に、感謝する気持ちが芽生えたのではないかと感じております。教室ではできない大切な授業です。教科は総合的な学習の時間で、地域の方の協力がないと絶対にできません。地域と共にある学校づくり(コミュニティースクール)の実践の1つです。子どもを地域で育てることはとても大切なことです。地域と共にある学校をこれからも目指していきます。地域の方々、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。それから、ありがとうございました。

5年生と池田さんたち



募金贈呈

企画委員さんと川端様

12月9日(火)昼休み、宇城市社会福祉協議会の川端様に来校いただき、本校児童が集めた募金を贈呈しました。このお金は、すべての方ではありませんが困っている人にとって有効に活用していただくことになります。代表児童は、「困っている人のために使ってください。」と伝えて川端様に渡しました。川端様も「必要とする方に有効活用します。」と応えてくださいました。ちょっとしたことでも自分ができる思いやりの気持ちを、これからも実践していきたいものです。



発表する保健委員さん

相手意識

三角小の多くの児童は、朝地域の方・職員に会うと元気にあいさつをしてくれます。



12月5日(金)の児童集会で保健委員会さんが発表しました。企画委員と6年生は、先に体育館に整列していました。その後他の学年が入場してきます。先に体育館にいた児童が、後から入ってきた児童や職員に「こんにちは」と大きな声であいさつします。された児童も「こんにちは」と大きな声でお返しをします。それが複数回繰り返され全員の入場完了です。また、当たり前のことがですが、発表も事前の練習がしっかりなされ、堂々と立派です。聞いた子も感想発表をしっかりできます。さらに、発表後の後片付けですが、特に6年生が椅子の片付けや窓やカーテンしめをすばやくやります。140人の児童は確実に成長しています。校長として誇りに思います。相手を意識した行動は、すぐ伝わる場合もあればそうでないときもあります。しかし、伝わらなくても相手を意識し、相手を思いやり続けていくことは大切です。「愛の反対は無視」と言われます。

